

平成31年 第2回(臨時会)

## 厚真町教育委員会会議録

1 開会

平成31年2月12日(火) 午後2時30分

2 閉会

平成31年2月12日(火) 午後3時02分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 佐藤 泰夫 長門 茂明 金光 えり

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 木戸 達也 生涯学習課参事 宮下 桂

【書記】学校教育G主幹 田中 紀嘉

5 会議録署名委員の指名

( 金光 えり )

( 長門 茂明 )

6 議案

議案第1号 平成31年度教育行政執行方針について

(資料1)

【質疑】

長門委員 : 内容については充実している。冒険の森事業などは、今年度計画段階だったが新年度は実践に入っていくなど非常に楽しみである。職員は震災の対応などもあり大変だが、なんとか実行していってほしい。個人的な見解としては、各児童・生徒の個性を伸ばすという意味では、厚真町は成功していると思う。子どもたちは一定以上の教育水準にある。一方で、あまりにも施策があり、子どもたちにとっての選択肢が少し多いような気がする。

遠藤教育長 : 確かにいろんなメニューがそろっている。子どもたちが自ら考え、判断していくことは必要なことだと思うし、総合的な学びの中で主体的にやっていくことは大切である。

佐藤職務代理 : 小中一貫教育の考え方が、多くの町民にしっかりと認識されているのか。

遠藤教育長 : 教育フォーラム等でも概要はきちんと説明している。どうして厚真町が小中一貫教育を遂行する必要性があったのか。これは英語教育を進めて行く上で必要があると。

これまでも成果があったし、今後も力を注いでいきたい。教育課程の編成の見直しも予定している。これまで、本町の英語は国の特例を受けてやってきたが、新たな仕組みが必要となった。小中一貫教育の概念が厚真町の教育にマッチングしたということ。これからも保護者向けのアクションは必要である。

佐藤職務代理 : プログラミング教育はどうしていくのか。

遠藤教育長 : プログラミング教育とは概念の話で、プログラミング科というものはない。こういう形にしたいと思うことに、いろいろな素材を使い、どう効率的にやっていくかということ。そういった考えで各教科に取り組む意味である。

全委員 : 異議なし。

## 7 その他

(1) 各学校の卒業式・入学式の日程について

(資料2)

(2) 平成30年度胆振管内教育委員会委員研修会

日時 2月14日(木)～15日(金) 会場 登別万世閣

※14日(火)は午後12時、青少年センター出発

## 8 次回委員会の開催日程

・定例委員会 2月28日(木) 午後2時30分(予定)

## 9 閉会

厚真町教育委員会会議規則第18条の規程により署名する

平成 年 月 日

教育長

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

生涯学習課長（調製）